



2025年7月29日

株式会社住商アビーム自動車総合研究所 御中

自動運転システムの社会的受容に関する研究協力をお願い

標記の件につき、ご連絡します。

2024年度-2027年度、文科省の科学研究費補助金_基盤Aにて「自動運転システムの社会的受容」をテーマとした研究を進めています。(詳細末尾)

英国ラフバラ大学及びドイツカールスルーエ工科大学の研究協力者との連携があるものの、米国やEUの動向は入手しづらい状況にあります。特に、最も先進的な米国の自動運転タクシー、バス、トラック等の事例(国内外法令・事業性・社会受容性など)について今後調査研究を深めたいと考えております。

つきましては、この分野で豊富な知見をお持ちの貴社アソシエイト・プリンシパルの鈴木陽子氏に、本研究の研究協力者となっていただきたく、お願い申し上げます。

たいへんご多忙と存じておりますが、日本に自動運転システムをソフトランディングさせるために、鈴木氏のお力が必要です。ご検討のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

研究種目：基盤研究(A) (一般)

課題番号 24H00330

研究課題名：「クルマ」と「自動化するクルマ」の社会的受容の包括的理解に向けた学際研究

研究期間：令和6年度-9年度

国立大学法人筑波大学

システム情報系

教授 谷口 綾子

谷口 綾子